



Deep Snow 絵集編

for ADULT ONLY



Deep Snow

Kawaisounako ichino&yuyū jūgō shū.
mahoutakakoukō no "ousei" miyuki fanbook.
kōmō naruket83 20121231
kawadevi Xrated08



あの…



…入っ
てお
いで
CAD
の調
整な
んた
らう
う？

ええ、
そん
なん
です
けど…

お兄
様、
失
礼
し
ま
す



じゃあ
それ
を説
いで
……
ん？

どう
した
？
深
雪？





1P
サ

この方が正確に
調整できると思っています…

下着は…はずしてきました



な……



と、どうしたんだ…深雪
下着は着けてないのか?



と、どうしたんだ…深雪
下着は着けてないのか?







でも
それって...

七草家や十文字家
認められていると
いうこと...



そんなのは...
嫌.....っ



お疲れ様、
深雪

ありがとうございます



お兄様は何の反応も
してないな...

兄妹だからかも
しれないけれど...



こんなお兄様がいるのは
いいな...



なっ!?

お兄様...私の身体に
魅力ありませんか...?



深雪...?

いや...十分魅力的だよ

アッ・アッ



やはり……
会長が良いのですね……？

まて、
何の話だ



では……女として
見て頂けますか？

いや……兄妹でそれは
まずいだろう？



今日の昼休みの
ことです……

昼休み？

はい……実は……



……

なるほど...

それで俺と会長が
結婚するのとかと
勘違いしたわけか...



はい...
申し訳ありません...

いや...



ただ...そんなことは
ありえないから
安心しなさい

さ、服を着...



お兄様

お兄様



お兄様が他の方に
ご興味がないのは
分かりました...でも

こんな...格好をしているのに
何も反応してくださらないなんて...
私は.....っ



深雪は...恥ずかしくて...
もう...

み、深雪っ!?

さあ...

ああ...



かわいいの
かしら...

何って...お兄様が
いけないんですよ?

ちよつと待て
な...何を...

はっ...

下あ、

私のこと...見て
くださらないから...

当たり前だろう?!



俺だっつ...

ロウっはんた...

性欲が全くない
というわけではない...

こんな...
どうしたらいいんだ...



これがお兄様の...っ

当たり前だろう?!



だんだん大きく
なって...

気持ち...いらですか?



それよりっ...とっで
こんなことを...

固く.....

まだ...ダメです...
お兄様...っ

...少し...安心しました...
私でも...その...
大きくして...くださって...

それはそうだろう...
こんなこと...されたら...

こん...なに...っ

お兄様...っ
私も...っ...っ

お...っ

お...っ

お...っ

お...っ

仕方ないか…

深雪…わかった
こっちに来てごらん？

……どうですか？

…ああ

さすがにそれ以上は…

深雪…深雪…深雪…

……深雪…

は…

あ…あ…

ああ…

ちあ…



お兄様...



私...お兄様...

お兄様...お兄様...
これです...

イヤですっお兄様...

お兄様...

そんな…
私だけだなんて…
お兄様っ…

いや…それは…

でも…もうこんなこととして
「一線」は越えてしまってる
いるのですよ？

う…たしかに
そうだが…それは

私のためを思っている
ことですよ？

#…

なら…私はこのまま
お兄様と一つになりたいです…

一緒に…気持ちよく
なっ…てほしいんです…

深雪…

#…





せつかく...

せつかくお兄様と
一つになれましたのにな...

これでは...

そうだな...
すまない、深雪

お前の気持ちは
分かっているつもりだよ

ちやんと最後まで
するから...

あめ
みる

みる

みる

みる

とろ

は...

は...

あ...

あ...



お兄様...

めろ...

ガマン

私...

わん...

私うれしです...

痛くても...ガマン
しますから...

ガマン

わん...

ガマン

わん...

わん...

ガマン

わん...

わん...

わん...

わん...

ガマン

わん...

わん...

わん...

わん...

ガマン









さすがに...
マズイよな...

さて...どうしたもんか...

ふん...

少し...
休みますね...



ハッ...



おれは... 好き。

とりあえず...
今はいいか...

あれから
俺達は...

お...禁...
♡



はあ...う...は...

...これ...

気持ちいいです...っ

調整の段に
行為を繰り返すの
なった

深雪も
今までになかった
快感や



人肌が
恋しいのか

あじ...お兄様...

お兄様の
お尻に
お尻に

最初は
恥ずかしがっていた
ようだが

お兄様...
お願いします...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

俺もそれを
受け入れていた

段々自分から
セガむようになり

だが…

お兄様っ…今日は
中に…っ…

深雷…それは

お願いしますっ…

それはできないよ、
深雷…分かるわ？

は…い…
すみません…っ
お兄様…っ

—実の妹で。

それに…俺は
射精しなくても
大丈夫だ

そんなんっ…



6p...

10...

7...

70...

10...

10...



できたよ
深雪

ありがとうございます
お兄様



行為の後は
なぜか...



—ガ



どつした？
深雪



深雪は不満気な
顔をずる

いえ、何でも
ありません...



ヒキッ...

と

ヒキ

そして
ある時——

深雪です
失礼します

ああ、
入っただい

お兄様... 今日も...
その... したいです

ヒキ

...ああいよいよ



さすがにこれを続けるのも
どうかと思うが...

ちゅっ

ちゅっ

はっ

ちゅっ...

はっ



はっ



深雪の気持ちを
邪険にすることも
できない...

はっ



お兄様...

いつも通り
深雪を気持ちよくさせて...

はっ











自分なりに
考えていたつもりだったが

そんなことないよ、深雪…
なんでそんなこと…

そんなはちきれそうな
ままにして…
お兄様は…お兄様は…!

深雪を
不安にさせていたみたい
気付く



…う

…私では…う



あまり…気持ちよく
ないので…ですか？



いや…それは…



私のことはわかりで
その…最後まで、

なんで…
出してくださらないの
ですか…？



お兄様と私の
立場はわかっています

……すみません

—そして

…無理を言っている
ということも

深雪



今日は大丈夫な日なので
つい…
軽率でした



そっ…



冗談です、お兄様…
深雪はこれだけで幸せです

お兄様を困らせるるもりは…
申し訳ありません…

深雪はこんなにも
俺のことを想ってくれている



深雪が…
とても可愛く思えて—



舌が……っ



お兄様の
手が……っ

あ……



それにその体勢……
私からはお兄様が
見えないので……

少し……
恥ずかしいです……



これも……深雷への……
愛情なのだろうか……



お兄様...

ん...

ん...

ん...

ん...

ん...

ん...

ん...

ん...

お兄様のが...

ん...

ん...

ん...

入って...

ん...お兄様.....

ん...

ん...

ん...

ん...

ん...











お兄様、本当に悪いと思っ
ているのなら行動で示して
ください

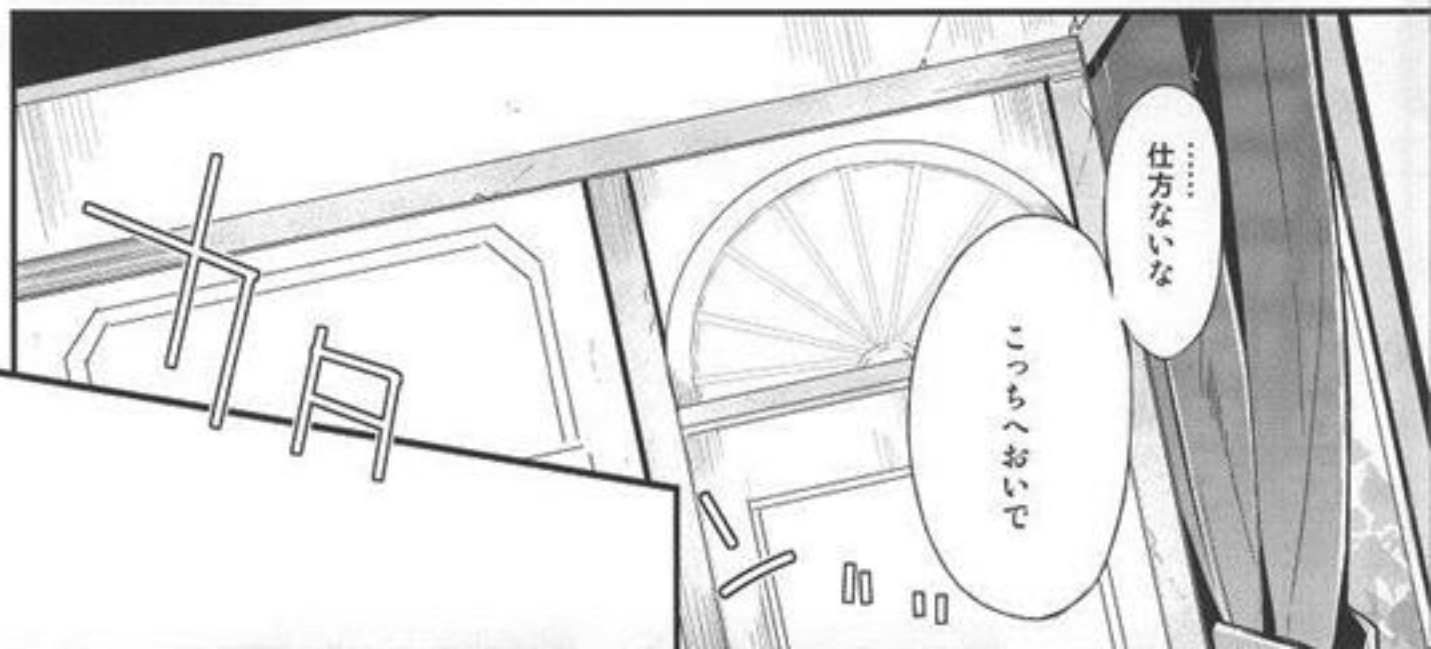
……ここ
でか？



悪かったからそんなに機嫌を悪くしないでくれ



もっ……
もちろんですっ



……
仕方ないな

こっちへおいで



…っいえ…お兄様
…まだ…っ

…ん



…っ

まだ…
足りません…っ



わかった…
誰もいないうちに
早めに済ませるぞ

仕方ない…

んむ…っ



あ…っ

これでいいか？
深雪…

ん

はあっ…

はあ

あっ

お兄様も……

深雪、いつもより
すごいぞ……

そんなこと……
ありません……

こんな趣味が
あったとはな…

学校でこんなことして
興奮しているのか？





ん……

幻滅……ですか……？



お兄様は……っ
こっ……こんな深雪は……



おに……さま……っ
うれしいです……っ



あ……っ

そんな訳ないだろう……
かわいいよ……





お兄様……っ
そろそろ……っ

押れて……ください……っ

すま

は

ん

こうすれば……
服を脱がずに……
できますから……

ん

ん

ん













だめ、
ガマンできないくらい...

.....

すす...
すす...
すす...

ドキドキして...

想像以上に情熱的
見てる人々の...





お兄...お...お...
い...い...い...
お兄...お...お...
い...い...い...

お...お...お...
い...い...い...



んあっ

お兄様...っ

5.5
6.5





会長……



見てたんでしょ?



そうですか……

ところで会長



顔が赤いようですが、どうしましたか?

えっ!?



……秘密にしてもらえませんか?

ええ……そうね……と言いたい所だけど、さすがにやりすぎよ……



そ、そんなわけ
ないでしょう!?

俺達の情事を見て
興奮してましたね?

会長...



そ、そんなこと
ないわよ?

呼吸も乱れていて
心拍数も高いようです



たっ!!
垂れてきちゃった!!

たっ!!

たっ!!



会長が
学校でとは...

あ...あなたには
言われたくありません!



それもそうですね...
では



これで
手打ちにしませんか

あ...っ
舌が...っ!?



あ...っ!?

...

する...

あ

こんなに濡らして...

ほ、
フキ
い...
は

フキ

このままで帰るつもりだったんですか？

そ...それは...っ

あ

あ

達也くん...

フキ

フキ

あ
あ
あ

...





618

あーん
あーん
あーん

達...也

奥まで...
来て...







お兄様…
遅かったですね

待ってたのか深雪…
ちよっと色々あってな

…そうですか



…会長とは
どうでした？

お兄様…

深雪!!
気付いて…っ

今夜は…
覚悟してくださいね？

オニオキです!

あんなコトが
あつたばかりで

家に帰ったら
どうなることかと
思っていたが...

格にいつもと
変わりがなく

か...いつも通り...

どうやら機嫌は
直ったようだな...

オジオキと噂の噂の
だから
相当怒っている
思っていたが...





「おはよう……」



……もうっ
お兄様ってば



私、これでも

すごく怒って
いるんですからね……？



だって
いつも一緒に入って
頂けませんし…？

それはそうだろう…
兄妹だぞ

ほら、後ろを向いて
ください
…お背中流します

……わかったよ、深雪

ここは逆らわない方が
良さそうだな…

た…♡



おま...おま...

何か違う気がするの
気のせいかな...?

そんなこと
ありませんよ？お兄様



...もしもし
深雪さん？



お兄様...
どうですか？

どうって...



...もし...
深雪がキレイにして
差し上げますね...



みっ

みゅっ!!



びゅ

びゅ



ちよ、ちよと
待ってくれ

前は...っ







…背中じゃ
なかったのか？

背中
はキレイに
なりましたので
こっちらもキレイに
しませんと！



は、ほら！



お兄様
続きです！

お、おいッ



あっほらこちらは
喜んでるよう
ですよ？

それとも…
イヤ…ですか？



お兄様…
どうですか？

はっ…

ああ…
気持ちいいよ



しかし、
俺だけが気持ち良くなつては
オシオキにならないん
じゃないか？

いえ…そんなことは
ありません

それだけで
十分ですわ…

お兄様が気持ちよさそうなの
お顔を深雪だけに
見せてくださる…



…裏側も
キレイにしますね

深雪…
それ以上されると



はあ...はあ...

ちゅっ

ちゅっ



たくさん...

はあ

出ましたね...♡
お兄様...っ



お兄様のを触っているだけで
もう.....

こんなに...
濡れてしまいました



はあ

はっ

はっ



お兄様...私

はあ

はっ



え……っ

あの……っ

お……っ



おちらんを……

それは……おっ……

お……

兄様の……っ

深雪の……

お……

お……っ

ガクガク……っ

あ……

あ……



……言えません!!

うう……

お兄様……



んんん...

すまない深雪...俺がいじわるだったな

お兄様へのオシオキだったはずなのに...どうしてこんなことに...

...入れるぞ

んあああ...挿入って...♡♡♡

おっおっおっ

おっおっおっ

おっおっおっ

♡

おっおっおっ

おっおっおっ

おっおっおっ



お兄様...

お兄様のことか...
好きです...♡

...ああ...
俺もだよ、深雪

こうして身体を
重ねて下さって...

すまっ...

深雪は...
幸せです...♡





深層は...

お兄様なしでは

おののの...♡♡♡

おののの...♡♡♡

おののの...♡♡♡

ぐわんぐわんぐわん

ぐわんぐわん

ぐわんぐわん

ぐわんぐわん

ぐわんぐわん

ぐわんぐわん

ぐわんぐわん

ぐわんぐわん

ぐわんぐわん

ぐわんぐわん

ぐわんぐわん

ぐわんぐわん

ぐわんぐわん

ぐわんぐわん

ぐわんぐわん

ぐわんぐわん



何か…狭いせいか
声が響いて…





こんな
深雪は……

おかしいので
しょうか……

おしり……
見られて……

でも……お兄様に……
もっとな……
私を……♡

お……

おしり……
おしり……

見て……
ほし……♡

おしり……
おしり……



今日は...
大丈夫な日...

いいですよ...
お兄様...?

室内に...
出して下さる...!!

深雪...
そろそろ...出すよ

私のなかに...
お願い...します...!!

びしょ!

びしょ

びしょ

びしょ



あの…
お兄様

…なんだ？

お兄様の…上に
失礼させて頂いても

宜しいでしょうか？

その…

恥ずかしいの
ですが

セー

…ああ、
いいよ

おいで

ありがとう
ございます

こうした方が、
お互いくっついてる
気がして…

セー

ん

ドキドキ
しませんか？

おねえさんがお風呂に入ると、
おねえさんの行儀のいいところ
思いついてしまふな...

おねえさん...



柔らかい...

いえ、深雪は
嬉しいんです

私で...その、
大きくして下さって
いることに...

す、

ドキ

お兄様...?
少し、かたくなって
きましたか?

おねえさん、ごめんなさい...

ああ...これくらいなら
問題ないよ...

もう一回...
お兄様と...

.....
したいです...

ドキ





... 驚かす...

巨大な手

巨大な手

巨大な手

巨大な手

巨大な手

巨大な手

巨大な手

巨大な手

巨大な手



